

先取喚呼の教育ソフト

誰にでも簡単に実施できるし忘れ(失念)防止法として、先取喚呼を提案し、その教育ソフトを開発しました。

研究の背景と目的

- し忘れ(失念)は、時には重大事故につながる可能性があり、その防止は重要です。失念を防止するために、メモを使用したり、アラームを使用したりと様々な対策が取られていますが、失念をなくすには至っていません。
- そこで、特別な道具を必要とせず、簡単に実施可能な失念防止法の提案、及びその教育ソフトの開発を目的としました。

研究成果

- 失念防止法として、先取喚呼を提案しました。これは、し忘れてはいけない予定について、あらかじめその予定を実施しているところをイメージして、その内容を喚呼したり(イメージング型)、喚呼を反復して、常に意識上にその予定を維持したり(反復型)することで失念を防ぐという方法です。一般の方と鉄道運転士を対象とした検証実験により、その効果を確認しました。
- 先取喚呼のやり方を学ぶことができ、その失念防止効果を手軽に体感できるソフトを開発しました。このソフトを使用して、先取喚呼について教育すると、「先取喚呼を実施しよう」という動機づけが向上することを、鉄道運転士を対象とした検証実験により確認しました。

先取喚呼(イメージング型)

区所等で、
イメージング型喚呼

A駅の先に臨時の徐行区間あり。
A駅出発時は、フルノッチを
入れない。



先取喚呼(反復型)

運転中に、
反復型喚呼

ボソッ

徐行、4 5

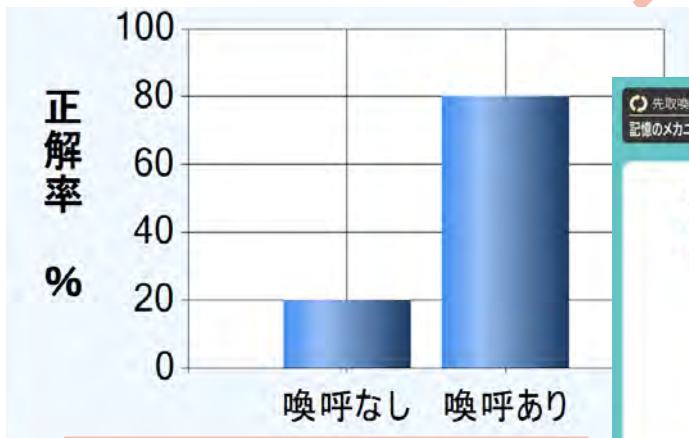


今後の展開

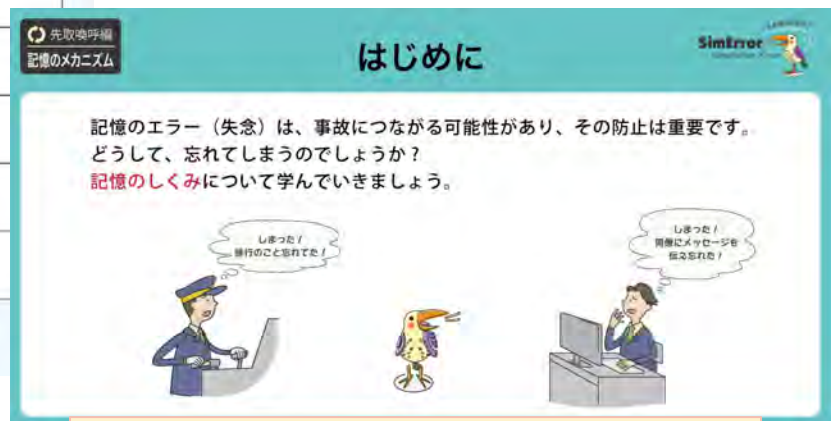
- 本ソフトは、SimError先取喚呼編(反復型)として、今年度中に販売予定です。

ソフトの活用イメージ

ニーズに沿った多様な学び方(体験学習)が可能です。

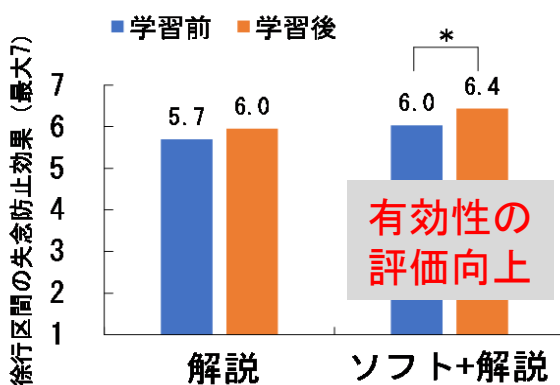
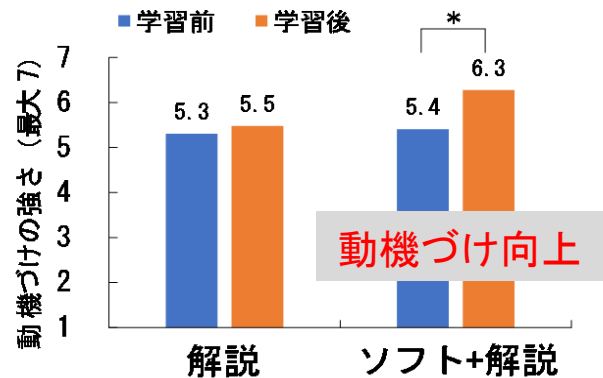


先取喚呼の効果を感じ



解説スライドで先取喚呼を学ぶ

教育ソフトの効果

徐行区間失念防止に有効？
(1:有効でない ~ 7:有効)先取喚呼を実施したい？
(1:使いたくない ~ 7:使いたい)※反復型喚呼 被験者94名 (* : $p < .05$)